




土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 平成30年度 二級河川 瀬野川水系 三谷川 通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 砂防 砂防

ボーリング名		B 1- Nō. 1		調査位置		広島県安芸郡熊野町出来庭地内（椎川支川2渓流）						北 緯		34° 20′ 35.7527″			
発 注 機 関		広島県西部建設事務所				調査期間		2020年 9月 2日 ～ 2020年 9月 8日				東 経		132° 34′ 23.8084″			
調 査 業 者 名				主任技師		現 場 代 理 人		コ ン 定 者		ボーリング責任者							
孔 口 標 高		T.P. 294.39m		<div>角 度 180° 上下 90° 0°</div> 	<div>方 位 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南</div> 	<div>地盤勾配 水平0° 鉛直 90° 16°</div> 	使用機種	試験機 東邦地下工機 DI・C									
総 削 孔 長		12.00m						エンジン		ヤンマー NFD 12		ポン プ		東邦地下工機 BG 3C			

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験										試料採取		室 原 位 置 試 験	削 孔 月 日
												深 度－N値図		N 値	深 度	100mm ことの打撃回数	打撃 50 回の貫入量	50 回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度	試 料 採 取 方 法	深 度	試 料 採 取 方 法		
1	293.59	0.80	シルト質砂	玉石混じり砂礫		赤褐			新生代第四紀	0.3m付近までは表土。細粒分が特に多い。以深、細粒分を中量含んだ細砂。褐色の色調が徐々に弱まる。					38	1.15	5	16	17	38					
2						淡灰褐	rd4			玉石分はコア長7～8cmで採取される。その他、中量～細粒分も少なくない。クサリ礫の混入も認められる。マトリクスはシルト質の砂である。砂分は少し細粒に偏るものの、粒度分布の悪いものではない。貫入試験はクサリ礫を貫通している可能性がある。				49	2.15	9	21	19	49						
3	291.44	2.95												13	3.15	3	5	5	13						
4														12	4.15	3	4	5	12						
5														12	5.15	3	4	5	12						
6														14	6.15	3	5	6	14						
7														20	7.15	5	7	8	20						
8														23	8.15	6	8	9	23						
9	285.39	9.00												56	9.15	15	19	16	50						
10														88	10.10	26	24	70	50						
11														125	11.00	41	9	20	50						
12	282.39	12.00												375	12.00	50	40	50	40						